



見本用の総染め機

もともと富士吉田の織物工場が自分たちで使う糸を染めるために設立されたが、羽田修現代代表理事の父が権利を買って取った。総上げや総染めした糸のコーンアップが自家でできる。整経工場もあり、総染め工場が前・後工程を行う必要はないが、他産地では需要がある(羽田代表理事)とみて参入した。

チース染色は一定のロットがいるが、総染めは小ロット対応が可能なた

工陽染エ テレワークにも使えるシャツでCF 部屋着にも使える快適さ

染色加工の山陽染工(広島県福山市)は7日、テレワークでのオンライン会議時に画面映えがしつ、ちょっとした外出や部屋着にも使えるデニムシャツのクラウドファンディング(CF)を始めた。目標金額は30万円に設定。CFサイト「マクアケ」で8月15日まで支援を募る。

生地には、グループ会社の中国紡織(福山市)

が製造する調温素材「アウトラスト」使いのデニムを採用。縫製は、縫製・洋装販売のヌーストリー(同)が手掛けた。ネクタイをしているように見えるプルオーバータイプ、オーソドックスタイプ、オーソドックスタイプ、オーソドックスタイプのペイズリー柄の3種類をそろえた。

プルオーバータイプはユニセックス仕様で、女性が着るとボンチョ風の



装いになる。被って着るタイプのため、急なオンライン会議にも対応できる。オーソドックスタイプは、袖裏から背中側にかけて、伸縮性があり通気性の良い鹿の子編み素材

柄を施したプルオーバーデニムシャツを施したプルオーバーデニムシャツ。ベイズリー柄は、部分的に色の抜け具合を要すること。色の濃淡を表現する同社の独自技術の「段落ち抜染」で表現した。

価格は税込み1万6千円。セットプランも用意し、CFでの出資者には最大10〜20%の割引価格で提供する。

副資材E.C受注が急増

テレワーク拡大が背景に

副資材専門商社のオークラ商事(東京都千代田区)が運営する、法人向けの副資材注文サイト「アパレルX」の累計注文件数が、このほど1万件を突破した。新型コロナ

ウィルス感染拡大の影響で、アパレル関連企業にもテレワークが広がったことが、需要増の要因とみている。

アパレルXは、同社独自の品目別で、品別では、糸染物では、糸染物2万9千平方%増、あや類方7.7%増、あや類は12万5千

岡山県の織物生産 (単位:千平方メートル、かつ内は前年同月比増減%、▲はマイナス)

		2020年5月
絹織物	主要品目	
	系染めデニム	29 (38.1)
	あや類	28 (7.7)
	帆布・厚織	125 (▲33.5)
	絹織物合計	184 (▲22.7)
合繊織物	主要品目	
	ビニロン	98 (▲5.8)
	ポリエステル	4 (▲33.3)
	合繊織物合計	102 (▲7.3)
	その他合計	4 (0.0)
	総合計	290 (▲17.6)

(出典:岡山県織物構造改善工業組合発表資料)

5月の岡山県織物生産 今年初めて前年下

岡山県織物構造改善工業組合がまとめた2020年5月の織物生産量は29万平方メートルで、前年同月比17.6%減だった。今年に入って初めて前年実績を下回った。

品目別で、品別では、糸染物では、糸染物2万9千平方%増、あや類方7.7%増、あや類は12万5千

18年2月、時に表示さや単価も同き、注文にウェア上でうした利便業からのア合わせも急い。